

新発田っ子の

# 「弁当の日」

## 「弁当の日」は小学校における食育の集大成！

弁当の日は幼稚園、保育園、小学校で取り組んできた食育「食とみどりの新発田っ子プラン」の集大成と言えます。子どもたちは、成長に応じた食育の実践により、料理への興味・関心、食事のマナーや残さず食べることの大切さ、生産者への感謝の気持ちなどを育み、その成果として「弁当づくり」ができるようになります。

市では小学校6年生で「一人で弁当を作れる子ども」を食育がめざす子ども像としています。

## 事前学習

●「弁当の日」に向けて、調理実習で弁当のおかず作りをします。



薄く切るのは難しいなあ～。



本番もうまく出来るかな～。



●給食を自分の弁当箱に詰めて、適した大きさなのか確認します。



お弁当に詰めきれなかった～！  
弁当箱が小さいんだ！



給食が弁当箱にピッタリ収まったよ！



こうやって詰めるといいよ！



## 発表

●「弁当の日」当日は、作ったお弁当をみんなの前で発表します。



きれいな色合いになるように頑張りました！！



6年生はすごいなあ～!!  
おいしそう♪



●ランチルームのある学校では、低学年や先生方が興味津津で見学に来ます。

6年生になったら僕たちもお弁当を作るんだね!



# 世界に一つしかない **オンリーワン弁当** です！！



ここでは全部を掲載しきれませんが、みんながとても素敵なお弁当を作ってきました。

## ～ 子どもたちの感想 ～

- ・自分が作ったおかずをお父さんに食べてもらって「おいしい」と言ってもらえて自信がついた。
- ・前日からの下ごしらえや調理を自分一人で出来た。
- ・最初は卵焼きを上手に出来なかったけど、やっていくうちに上手に焼けるようになった。
- ・お弁当作りをしてみて、お母さんやおばあちゃんの苦労が分かった。
- ・3回目の最後の「弁当の日」で、一番バランスよく、彩りよく出来て楽しかった。



## ～ お家の方の感想 ～

- ・子どもに私が毎日作る弁当は、緑色が少ないと言われた。「弁当の日」を通して子どもが栄養のバランス等を勉強できてよいと思う。
- ・親子のコミュニケーションがとれるし、子どもも喜んで作っている。
- ・調理するのが楽しそうに見える。味付けや彩りも考えてやっている。
- ・作られたものをいただくだけでなく、作る側の大変さやありがたさを知る良い機会だった。
- ・「弁当の日」をきっかけに、自分で料理を作れるようになっていけば、レパートリーも増え、将来にも役立っていくと思う。

